

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2014/03/31 Vol54 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com

http://www.mmirai.com (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

平成 26 年 第 1 回 印西市議会定例会報告 (2)

平成 26 年第 1 回定例会は、平成 26 年度一般会計当初予算を修正可決し、3 月 20 日 (木) に閉会されました。

来年度予算案を「再議」を経て、修正可決しました。

3 月 12 日 (木) 印西市議会では、来年度 (平成 26 年度) の一般会計予算審議が行われ、「修正動議」を私、ぐんじとしのりが内容説明を行い、16 対 4 で「修正案」を可決しました。

* 修正案の内容・・・「小学校施設整備改修事業」2 千万円を削除し、一般会計の歳入歳出予算を 345 億 5 千万円とする。

* 発議者 藤代武雄 (北総志誠会) / 松本多一郎 (昂) / 板橋睦 (新政)
橋本和治 (公明クラブ) / 小川 勇 (ひびき) / ぐんじとしのり (新政) * 敬称略

= 市議会の主な会派の代表者が名前を連ね、私が発議者の代表として、説明を行いました。(私が所属していない「予算審査特別委員会」の審査中に、所属議員に対して、初めて「エアコン化計画」の説明が突然行われ、「説明不足である」ことを理由に予算審査特別委員会での当初予算案は否決されました。その後、12 日の議会本会議での採決に至るまで、「否決するのではなく、修正提案しよう」との議会内での調整が行われ、私が提案者となるに至りました。)

その後、議会最終日である 20 日 (木) に市長から「再議」が提出され、昼休みも超えておよそ 4 時間にわたる質疑、討論の結果、再び「修正案」の採決が行われ、**18 対 4 で「修正案」が可決**され、再議は否決されるという結果になりました。(出席議員の 3 分の 2 以上の賛成=15 名以上の賛成)

※ 「再議」とは・・・ 地方自治法 176 条では、首長は議会が可決した議案に異議があれば、10 日以内に審議をやり直す「再議」を求めることができます。再議後、再び同じ議案を可決させるためには、出席議員の 3 分の 2 以上の賛成が必要で再議前の過半数よりもハードルが高くなります。

=== エアコン化計画、何が問題なの? ⇒ 2 年で設置できます。 ===

私自身が考える問題点がいくつかありますので、列記します。

① 説明責任が果たされていない。

議員に対する説明責任の有無はこの紙面では記載しませんが、何よりも、市民目線で考えた場合に「エアコン化計画」の説明は、広く市民に行うべきものではないのでしょうか? (今回の計画はまだ多くの市民の知るところでなく、広く市民から意見を求める「パブリックコメント」以前のものです。) = 一部 新聞報道では「目玉政策」である旨の記載がありましたが、議会を通じて市民に対して行う、2 月議会開会時の「市長の施政方針演説」でも、また「当初予算の概要説明」でも「エアコン化計画」の説明が全く行われてきませんでした。これで目玉?) = 私は、市民に広く提示し、広く議論を行い、事業実施していくべきだと考えていますし、修正案に賛成した多くの議員も同じ思いだったでしょう。

② A4/1 枚の紙で「エアコン化計画」なのでしょうか?

・ 平成 26 年度から開始され、平成 27 年度に一部の小学校、平成 28 年度に残りの小学校、中学校は 29 年度という 4 年もかかる計画でいいのでしょうか?

- ・ 歳出合計 11 億 550 万円もかかり、4 年に分けて費用負担すれば軽くなるという話も聞こえてきますが、これで財政負担は軽いのでしょうか？
- ・・・ 会派「新政」として同じ会派を組む、海老原作一議員（大森）と手分けをして、先進自治体の状況を調べました。

☆ 先進自治体では。。。1 年の工事で一気に印西市の小中学校数（29 校）を遥かに超える学校の冷房化工事を実施した自治体もありますし、事業費に関しても市の持ち出しをほとんどすることがなく P F I 事業として民間資金で設置した自治体もあります。（他にリースや割賦という方法で毎年の支払いを平準化し、負担を軽くするという方法をとっている自治体もあります。）
 = 以前からエアコンの設置を検討していた「松戸市」に私は出向き、仲間の議員の会派室で担当課の職員に同席をしてもらい、現状を確認してきました。（松戸市では「学校施設の教育環境の改善を推進します。」といった「実施計画」があります。）

▼ 参考 松戸市の「実施計画」は 3 カ年計画で合計 24 億 2150 万程度かかるといった内容でした。
 （初年度（平成 23 年） 4 千万 24 年度 11 億 9225 万 25 年度 11 億 8925 万）
 ・・・> 現状では「設置はされていません。」 * これは耐震化工事を優先しているためです。
 = 今後、耐震化工事を終了後、計画を変更し、P F I 事業として事業予定と聞いています。

③ 何を焦っているのか？

A 4 / 1 枚の紙による「エアコン化計画」でも、平成 26 年度は「設備設計」だけです。

また、先行して平成 27 年度に小学校 5 校（小倉台、木下、原、滝野、いには野）だけエアコンを設置すると言うことでは多くの市民の賛同を得ることはできないと私は思いますし、この計画を知った多くの市民から疑問の声が寄せられています。

私だけでなく、今回の修正案に賛成した議員は平成 26 年度は市民の意見聴取も行い、「基本計画」をつくり、平成 27 年度以降に一部の小学校を優先して実施というのではなく、市内の小中学校に対して、一気に整備・設置をすべきではないかと考えています。

・・・ エアコン設置については、市民の税金を使う以上、十分な調査を行い、学校関係者だけでなく、パブリックコメント等を通じて、市民意見聴取を行い、最小限の投資で、最大限の効果を発揮するように努力すべきではないでしょうか。

=== ぐんじとしのりが「再議」の質疑で求めたこと。 ===

① 「説明責任」について、「説明責任」は果たされているとの声もあるようですが、市民に対して事前に「エアコン設置計画」は知らされてはいません。また「説明責任」とは「結果」に対して行われるものではなく、「意思形成過程」を十分に明らかにしていくべきものです。

② 今回削除した「調査費用」2000 万円については、しっかりと執行部で、計画を再度検討策定し、議員に提示することで、議員がエアコン設置に対して誰も反対していないことから、今回計画していた当初 5 校分の「調査費用」だけでなく、たとえば市内全校を調査するので、5000 万円かかる調査費用ですよ。と言うのであれば、議員は反対しないと思いますし、費用が今回の A 4 の紙面に記載している 11 億 550 万以上かかったとしても、議員も納得するのではないのでしょうか？

「調査費用削除」＝「エアコン設置反対」と短絡的に結び付けて考える方もいるようですが、今回はあくまでも財政上可能な「市内小中学校一斉設置」を求め、よりよい「エアコン化計画」を策定していただき、議会に再び提案いただくための時間が必要だと 18 人の議員は考えたはずで

議会に再び提案されるのを待つと共に、私は「市内小中学校一斉設置」を求める活動を他の議員と共に行っていきます。

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。（随時更新しています）市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく申し上げます。

ぐんじとしのり